

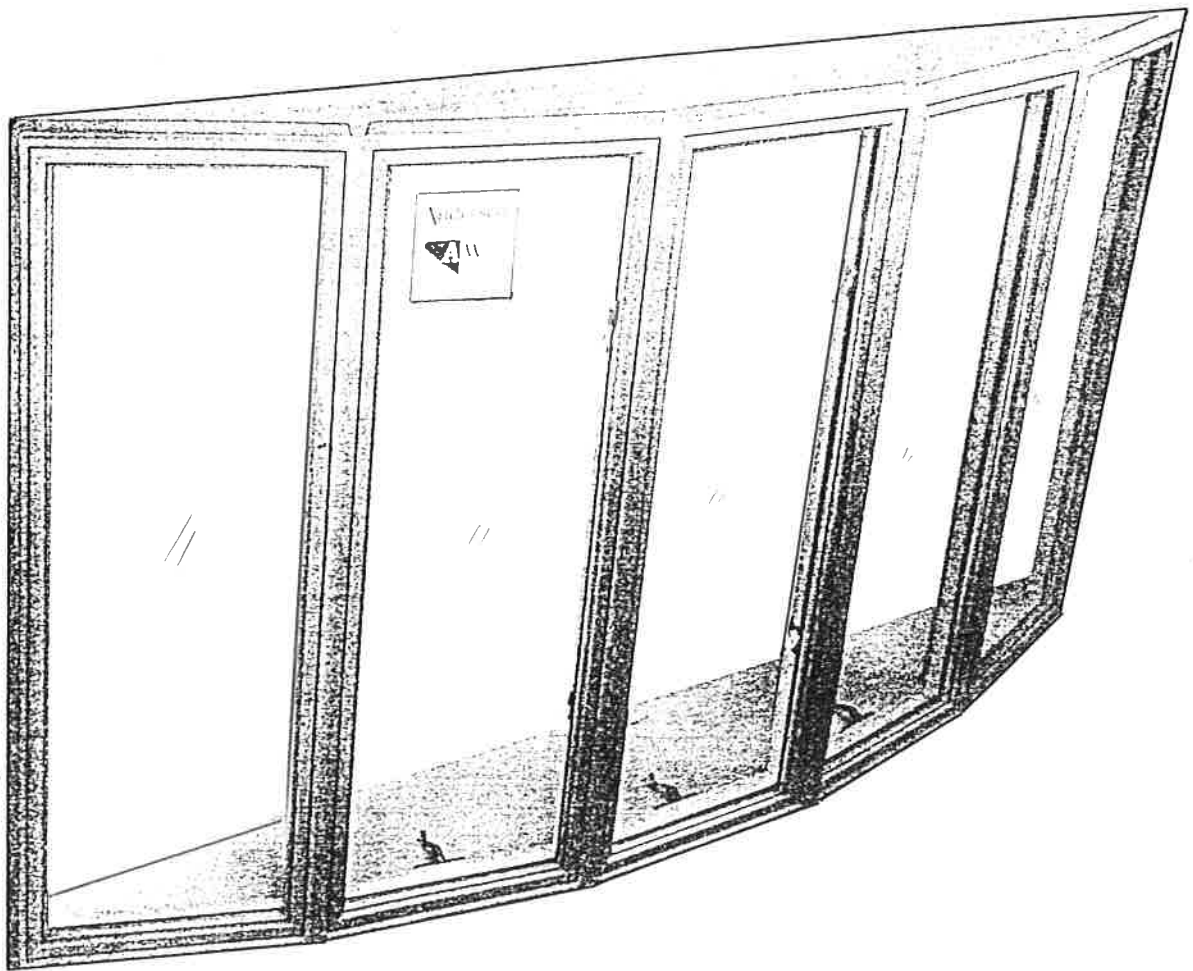
アンダーセン

ケースメント・ボウ・ウインドウ

AWCMBOW

組立説明書

Ver. 1.2



本書の無断転載・掲載は固くお断わりいたします

アンダーセン
ケースメント・ボウ・ウインドウ
AWCMBOW
組立説明書

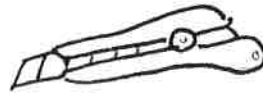
作業を始める前に、ひとつおりの説明書をお読みください。また必要な部品がそろっているかを、確認してください。

ケースメント・ボウ・ウインドウを組立てるには、次の工具・用品が必要です。

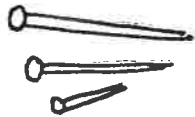
A. カナヅチ



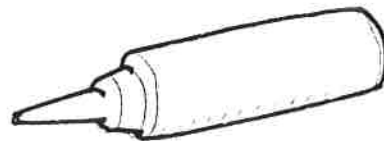
B. カッターナイフ



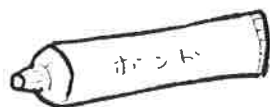
C. 釘 (30 / 50 / 55 mm長さ)



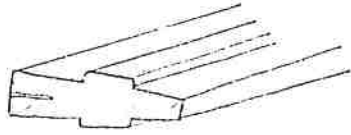
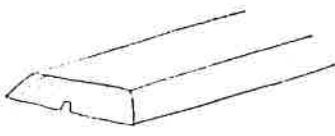
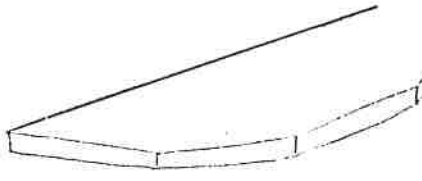
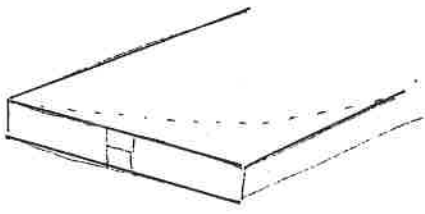
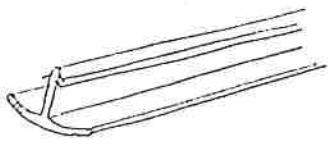
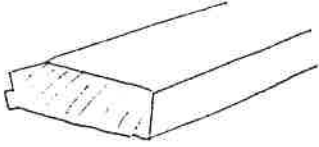
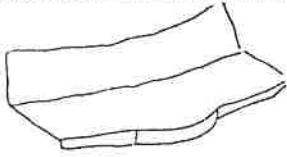
D. コーキング剤



E. ビニール用接着剤



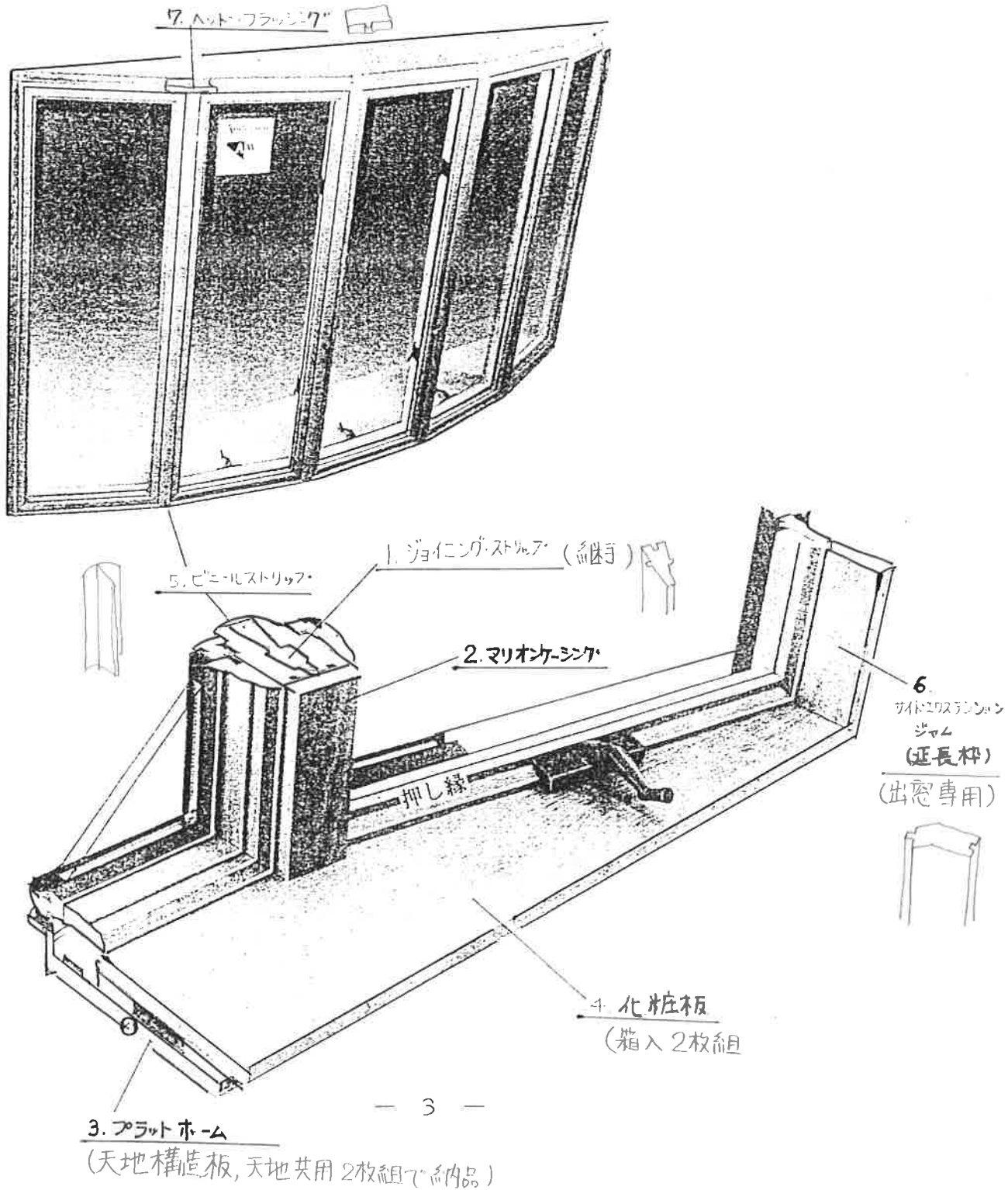
ABC DEVELOPMENT

部 品 名	数 量	商品のおおよその形状
1. ジョイニングストリップ (連結継手) ■窓本体どうしを連結します。 角度出し。	窓連結部の数と同	
2. ミリオン・ケーシング (内側方立て) ■窓本体どうしの連結部室内側の化粧板	窓連結部の数と同	
3. プラット・ホーム (天地構造板) ■窓本体の天地部を連結します。 (2枚一組になっています)	2枚	
4. ヘッド&シートボード (天地化粧板) ■室内側天地化粧板	箱入 2枚	
5. ビニール・ストリップ (ビニール・カバー) ■窓本体どうしの連結部・室外側の防水用化粧カバー	窓連結部の数と同	
6. サイド・エクステンション・ジャム (延長棒) ■窓本体と壁との間の角度出し	2本	
7. ヘッドフラッシング (雨押え) ■窓本体どうしの連結部・室外側天部の防水用化粧カバー	窓連結部の数と同	

AWCHBOW アンダーセン
 ケースメント・ボウ・ウインドウ

アンダーセン ボウ ウインドウ出窓構成図

※ BOW-C56 出窓を例に、おおよその部品取り付け位置を示しています。




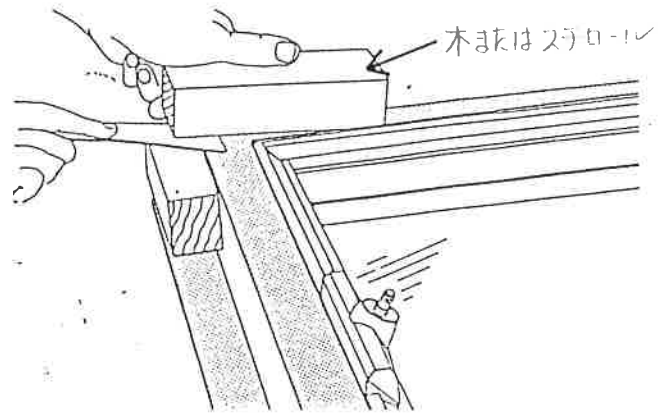
アンダーセン
ケースメント・ボウ・ウインドウ
組立説明書

AWCMBOW

1. 窓枠本体の四角の^{すみ}クッションの取りはずし

クッションを取り付けている「ピン」もすべて取ります。

ピン形状… 

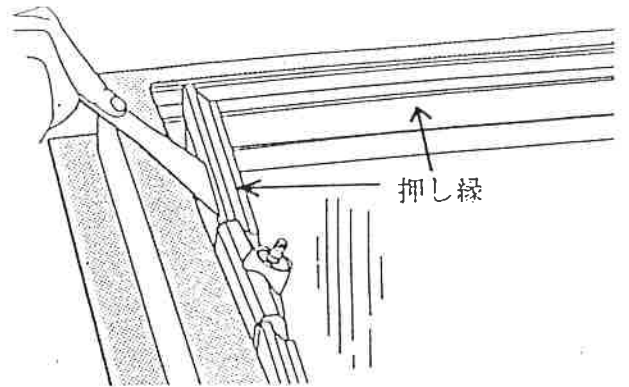


2. 「押し縁」の取りはずし。

天→地→左→右の順に取りはずします。

釘で留めてあります。

出窓組み立て終了後「押し縁」は元どおりに取り付けますので、なくさないようにします。

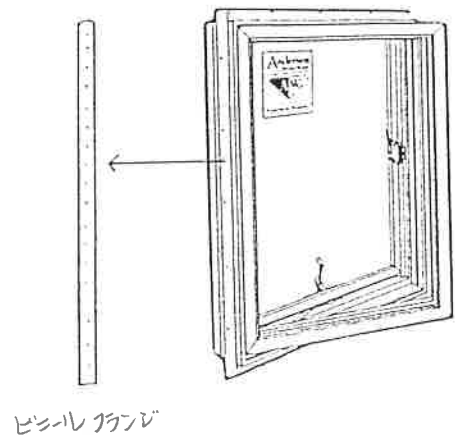


注意 「押し縁」は形状が同じでも、網戸取り付け穴があるもの、ないものがあります。元通りに取り付ける際、間違えないよう目印を付けると便利。

3. 窓を連結する側（左右）のビニール・フランジ（ヒレ）の切り取り。

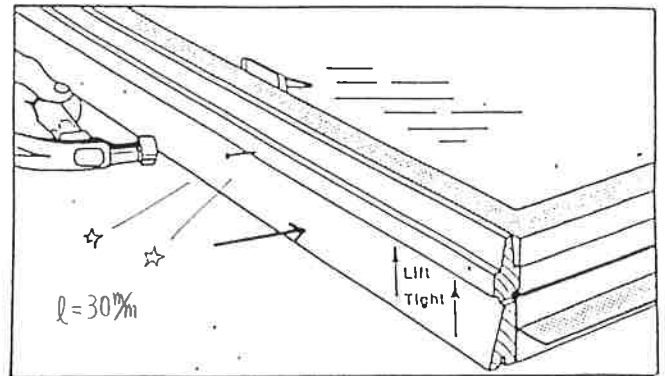
連結側以外のビニール・フランジを切り取らないように注意してください。

ポイント カッター・ナイフで筋を入れた後手の平で折り曲げるようにすると簡単に切り取れます。



4. ジョイニング・ストリップ（連結継手）の取り付け。

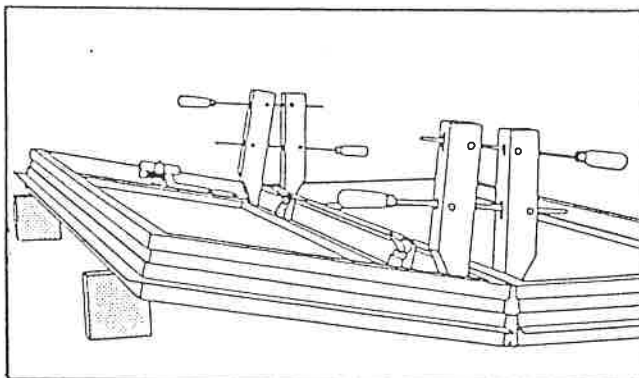
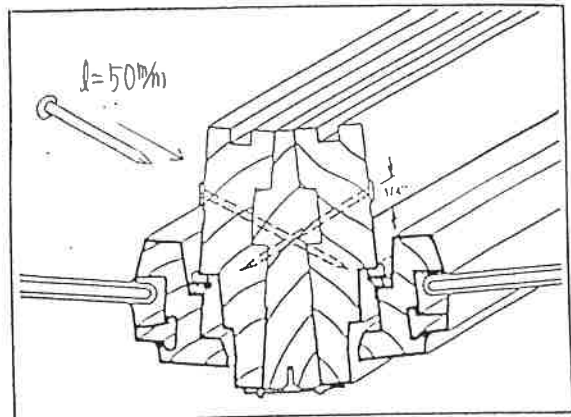
約30mm長の釘を数本使用し、仮り止めします。ジョイニング・ストリップは天地の区別はありません。



5. 出窓中央部分に位置する窓枠本体から連結継手をはさんで連結します。

窓枠本体内側より、約50mm長の釘を使い約100mmの間隔をおいて、打ち込みます。

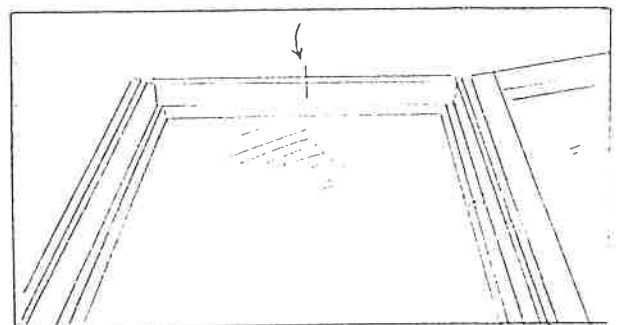
この段階では、出窓中央部分に位置する2台の窓枠のみ連結します。



ポイント 窓枠本体下部に当て物をしたり、万力でしめつけながら作業を行なうと、正確に早く仕上がります。

6. 出窓の中央部分に当たる窓枠本体に中心線を入れます。

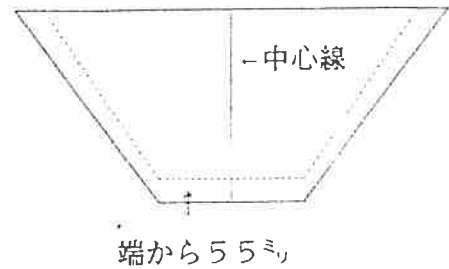
4連窓、6連窓については、連結部が、中心となりますので、線引きの必要はありません。



7. プラットホーム（天地構造板）と「5」で連結した2台の窓枠本体の取り付け。

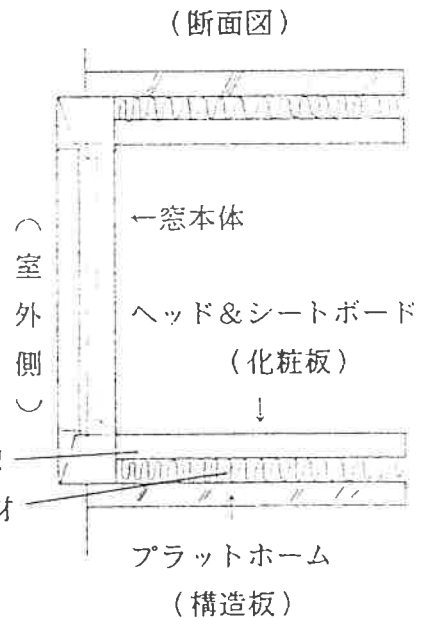
（手順1）

プラットホーム（構造板）に、「中心線」と、窓枠本体に釘を打ち付ける際に目安となる線をあらかじめ入れておきます。



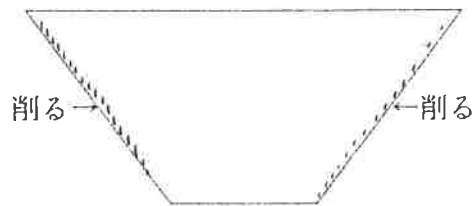
（手順2）

プラットホーム（天地構造板）は2枚組で、釘により貼りあわさっています。2枚に分解し、「5」で連結した窓枠本体にセンターをあわせて仮り止めします。ヘッド&シートボード（天・地化粧板）を当て窓枠本体との間に隙間がでないか確認します。



ポイント

ヘッド&シートボード（化粧板）と窓枠本体との間に隙間が出る様でしたら、プラットホーム（構造板）を削るなどして調整してください。数ミ程度隙間は、「押し縁」を取り付けた時に隠れます。



8. 「4」「5」と同じ要領で、他の窓枠本体を順次接続。

(手順1)

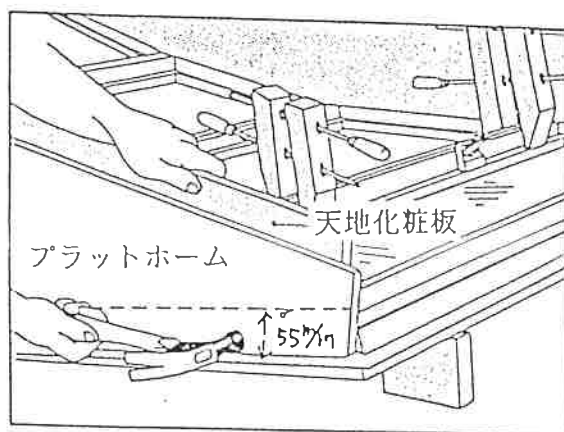
窓枠本体をプラットホーム（構造板）に仮り止めします。

(手順2)

ヘッド&シートボード（化粧板）を当て、窓枠本体との間に隙間がでないか確認。

(手順3)

プラットホーム（構造板）と窓枠本体を釘で緊結します。約55mm長の釘を使用し100mm間隔でプラットホーム（構造板）端から55mmの目安線上に打ち付けます。



(手順4)

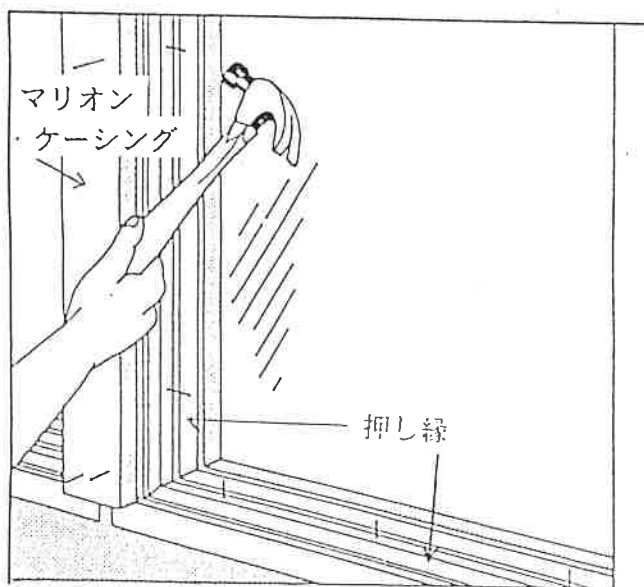
窓枠本体同志を、内側より約50mm長の釘を使い固定します。約100mmの間隔をおいて打ち込みます。

注意 ヘッド&シートボード（天地化粧板）とプラットホーム（天地構造板）との隙間には端材や断熱材を入れます。

9. 室内側の窓枠本体連結部分にマリオン・ケーシング（内側方立て）を取り付けます。さらに「2」で取りはずした「押し縁」を取り付けます。

「押し縁」は接着剤で

取り付けないこと!!!



注意 「押し縁」は一部形状が同じ。網戸取り付け用穴の有るもの、無いものがあります。元どおりに取り付ける際、間違えないようにしましょう。

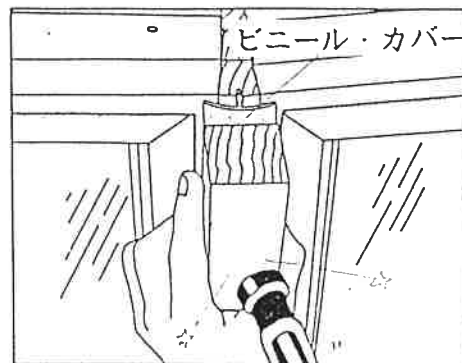
AWCHBOW

10. ビニール・ストリップ（ビニール・カバー）の取り付け。

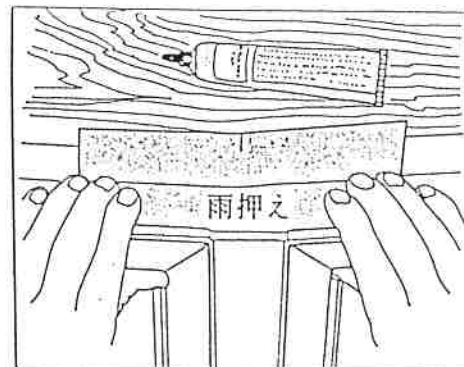
天地の区別はありません。
コーキング剤を塗布します。
出窓連結部室外側へ取り付け。



コーキング剤



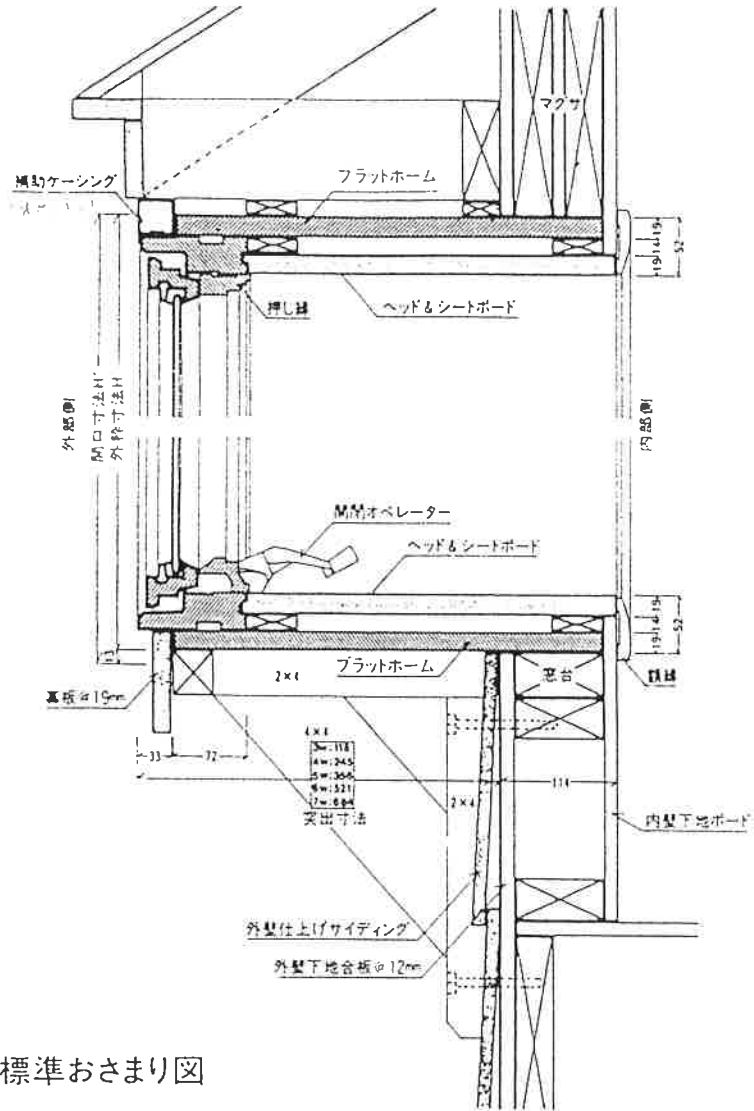
11. 出窓連結部の室外側上部にビニール・フラッシング（ビニール・カバー）を接着剤を使用して取り付けます。（接着剤は、含まれていません）



12. 出窓が組み上がりましたら、サッシの開閉検査を行なってください。次に、窓台に取り付け、左右にエクステンション・ジャム（延長棒）を取り付けます。

AWCHBOW

13. 本体下部には4×4材で支えを行なってください。支えが有りませんと経年変化により窓が下がり、窓の開閉ができなくなることがあります。屋根部分は住宅外觀デザインに合わせて設置ください。



2×4標準おさまり図